



地盤材料試験で社会資本整備に貢献しています

中部土質試験協同組合

理事長 坪田 邦治



【中部土質試験協同組合の概要】

中部土質試験協同組合は、中小企業近代化促進法に基づく構造改善事業の一環として、中部地域の地盤調査会社が協同出資し、地盤材料試験を行う共同試験場として1979年12月に創立され、2016年で37周年を迎えています。現在の組合員は、組合員18社、準組合員15社で構成されています。

創立以来、当組合は2箇所の試験室に分かれて業務を行っていましたが、2004年に現在の地である名古屋市守山区に統合が完了し、より効率的な作業が可能となりました。また、統合の際に、正式名称とは別に、「ジオ・ラボ中部」を特許庁に商標登録したことから、現在では“当組合の愛称”として、これが広く用いられています。

私たちの日常業務は、JISや地盤工学会基準(JGS)に準拠した地盤材料試験を用いて、原地盤の地盤特性をできるだけ的確に表現し、設計・施工時に必要な地盤定数の成果をお届けすることです。因みに、地盤材料試験は、各種の社会資本整備に貢献しています(下図参照)。平成8年には、名古屋大学名誉教授 植下 協 先生を技術顧問としてお招きし、各種の技術的相談・指導にも応じています。

【全国の地盤材料試験組合と連携＝ジオ・ラボネットワークを構築】

近年、地震活動も活動期に入っており、当地域においても、南海トラフ大地震の発生が懸念されています。こうした災害が発生した際に、全国の地盤材料試験の協同組合の相互協力により、業務の円滑な稼働や技術力向上を目指すために、ジオ・ラボネットワークとして連携を開始しました。

災害発生後、組合施設が被災し業務が不能となった場合でも、このネットワークを駆使して各地域の協同組合が連携することで、早急な災害対応を可能にしています。また、成果品のご提供については、ジオ・ラボネットワークサーバーを利用することで確実にお客様にお届けが可能となる体制を構築しています。さらに、日常においては“技術者交流”を行って、技術力の向上に努めています。

(私たちの生活環境と深く関わる地盤材料試験の紹介)

より良い社会資本の整備に貢献する ジオ・ラボ中部のミッション = 価値の創造 + 技術力 + 社会貢献

<p>ダム・堤防</p> <p>主な試験：物理試験・締めめ試験・透水試験・三軸圧縮試験</p> <p>斜面の安定(すべり破壊) 透水性</p> <p>盛土材料の性質 締めめの性質 圧縮性</p>	<p>切土</p> <p>主な試験：物理試験・一軸圧縮試験・三軸圧縮試験・超音波速度試験</p> <p>斜面の安定(すべり破壊)</p> <p>すべり面</p>	<p>トンネル</p> <p>主な試験：岩石試験・超音波速度試験</p> <p>トンネル 地すべり 偏土圧</p>
<p>擁壁</p> <p>主な試験：物理試験・一軸圧縮試験・三軸圧縮試験</p> <p>裏込め材料の性質 土圧</p> <p>背面上の安定(すべり破壊) 支持力</p>	<p>橋・高架構造物</p> <p>主な試験：物理試験・一軸圧縮試験・三軸圧縮試験・圧密試験</p> <p>地盤の安定(すべり破壊)</p> <p>土工 側方流動 沈下量 支持力</p>	<p>地盤沈下</p> <p>主な試験：物理試験・圧密試験</p> <p>盛土施工時の影響</p> <p>浮き上がり 盛土 側方流動 即時沈下・圧密沈下</p>
<p>盛土</p> <p>盛土材料の性質 締めめの性質</p> <p>主な試験：物理試験・締めめ試験・一軸圧縮試験・三軸圧縮試験・圧密試験</p> <p>支持力 沈下量 地盤の安定(すべり破壊)</p>	<p>液状化</p> <p>地表に亀裂・噴砂</p> <p>主な試験：物理試験・液状化試験・動的変形試験</p> <p>非液状化層 液状化層 非液状化層</p>	<p>舗装</p> <p>主な試験：物理試験・締めめ試験・CBR試験</p> <p>支持力</p> <p>路床・路盤材料の性質</p>

私たちは、全国の地盤材料試験協同組合で、ジオ・ラボネットワークを構築し、業務の円滑化・技術力向上に励んでいます。